

技術職員のための英文ライティング研修

この研修は昨年度に行われた英文ライティング研修とほぼ同様でこれから英文を書いてみようとする人が対象です。この研修は論文を書くためではなく、その前段階の英語そのものを書く練習をします。目標はマニュアルなどを書けるようになることです。技術英語に要求されるものとして「3つのC」があります。これは **Correct** 正確、**Clear** 明確、**Concise** 簡潔を意味します(参照:JSTC 技術英語委員会 <https://jstc.jma.or.jp/know/know-about/>)。これを意識して英文を書くことを目指します。

さて英文ライティング研修を受講するにあたって受講生にとって心配なことの一つは研修のレベルだと思います。研修は講義形式ではなく、課題を受講者に回答する実習形式です。難しすぎてついていけないのも困るし、易しすぎるのも意味がありません。そこで昨年度の研修から課題の一つを紹介します。この課題が簡単にできてしまうような人はこの研修を受ける必要はありません。

次の和文を英文にしてください。

「安全で有効なワクチンの製造には、ウイルスの出現後 4~6 か月以上かかる。」

(「技術英語の基本を学ぶ例文300」から抜粋)

回答例1

It takes at least 4-6 months to produce a safe and effective vaccine after the emergence of the virus.

この文は英語としては文法的に問題ありません。英語の試験問題としたら満点の回答だと思います。しかし技術英語として“3C”を意識するともう少し違った書き方もできます。

回答例2

Producing a safe and effective vaccine requires at least 4-6 months after the virus emerges.

回答例1は仮主語 *it* で始まるのに対し、動作を主語にすることによって文の構造が簡潔になります。日本語に直訳すると「ワクチン製造が 4~6 か月以上を必要する」という感じで日本語としては不自然になり、日本人としてはこういった動作を主語とした文は書きづらい面もあります。研修ではこういった日本人が慣れていない英文を書く練習をします。

研修の内容とスケジュールは表1を予定しています。

表 1 2023 年度の英文ライティング研修の内容

| 回 | 日時 | タイトル | 内容 |
|---|------------------|-----------|------------------------------------|
| 1 | 1月15日(月) | オリエンテーション | 研修の目標。研修の受け方。Zoom または Teams 操作の確認。 |
| 2 | 1月22日(月) | 無生物の主語 | 日本人が慣れていない無生物を主語とした英文 |
| 3 | 1月29日(月) | 動作の主語 | 日本人が慣れていない動作を主語とした英文 |
| 4 | 2月5日(月) | 自動詞と他動詞 | 日本人が間違いやすい自動詞と他動詞を意識した英文 |
| 5 | 2月19日(月) | 前置詞 | 前置詞をイメージで理解する |
| 6 | 2月26日(月) | 名詞と冠詞 | 可算名詞か不可算名詞を意識して、ふさわしい冠詞を選ぶ。 |
| 7 | 3月11日(月) | 課題の実践 | 受講者が書いた英文をみんなで検討する |
| 8 | 3月18日(月) | 課題の実践 | 受講者が書いた英文をみんなで検討する |
| 9 | 3月25日(月) (予備) | 課題の実践 | 受講者が書いた英文をみんなで検討する |

研修の最後の3回は受講者が書いた英文をみんなで検討していきます。研修6回目と7回目の間に2週間の準備期間を設けますので、自分でレポートやマニュアルを英語で書いて提出してください。書く分量はできる範囲で結構です。自分で書いた英語を人に見てもらうのは間違っていたりすると恥ずかしいと感じる方もいるかもしれませんが、しかし、恥ずかしいと思わずに、むしろ大いに間違えて欲しいと思います。間違えるとそれが印象に残ってよく覚えるものです。最初から間違えずに英語を書ける人ならこの研修はそもそも必要ないのです。大いに間違えて学んでいきましょう。